

もよりもよう

もも25号 2004年1月5日 発行

株式会社 時田工務店

〒360-0041 埼玉県熊谷市宮町1-3
TEL(048)521-0752 FAX(048)525-2027
E-mail : momo@tokita.co.jp
U R L : http://www.tokita.co.jp



百年企業への新たなスタート

(株)時田工務店 代表取締役社長 時田芳文

新春をこぼさず皆様には、つつがなく新年を御迎えのことと御喜び申し上げます。
創業八十年を迎えた昨年、私は、社員に三つの事を言い続けました。一、適切、最適な仕事を常に提供しているかと自問し続ける「技術者としてのプライド」
二、私達が施工する建築は街を創るといふ「地域創造者としての自覚」
三、建築は、今の用の連続して未来に命を持ち続ける「未来創造者としての責任」
この「プライド」と「自覚」と「責任」の無い仕事は、時代に消費されてしまふ、お客様の信頼をも獲得出来ない、と云って参りました。私は常に、正しく在りたいと念じています。正しく在るとは、様々な状況、場面の中で価値が変動し、その可変の状況に身を委ねてしまうことでは無く、不変の価値に強く拘り生きること、と思っております。建築を通して価値を創造しようという私達建設技術者の、最も必要な精神である、と思っております。時代の閉塞感、相変わらずの構造的不況の真っ直中に在る建設業界の今だからこそ、地域建設業者として、この意識の拘泥が重要だと思っております。

時代に対応するべく組織を改革した「建設・創生・管理」の三部制も良く機能し、それぞれの部目標を設定して、積極的な活動とクオリティーの向上を目指してまいりました。また取得して二年を終えた環境ISO14001も更新を頂き、ISO9001と共に活発な活動を続けています。
残念ながら、弊社取締役会長時田芳雄が十一月二十九日、満七十九歳で永眠致しました。八十年の歴史を共に生きての逝去でした。一〇〇年企業を目指して、新たなスタートとなる八十一年目の今年、この伝統と歴史を踏まえ改めて「清新の創造」を目指し、全社員一丸となって精進したいと思っております。で、変わらぬ御指導御鞭撻をお願い申し上げます。

埼玉国体開催の年に

再利用する炬火台

本年二〇〇四年は、埼玉県、この外わが熊谷市民にとっては待望の第五十九回埼玉国体開催の年です。そのメイン会場として十月二十三日開会式、二十八日閉会式が行われる陸上競技場の準備も整い、その晴の日を待って居ます。

この競技場建設工事の共同企業体に地元を代表して参加させて頂きましたわが社は、着工から完成まで共に汗を流し、苦勞して施工して来たからこそ、感慨があります。加えて、国体開催中燃え続ける炬火（オリンピックの聖火を国体では炬火と言うそうです）の台座設置の県発注工事を受注出来、今年の初仕事となりました。

この炬火台設置の事は「日本一簡素で心の籠もった大会」を理念とする彩の国まごころ国体にふさわしく、昭和四十二年、上尾で開催された第二十二回国体に使用された炬火

台を、修理修復して、移設再利用することです。経費を掛けない、という本来の事情を超えて、不遜な大量生産大量消費を善とした時代から、良い物を大切に使う今日の時代感覚を象徴する素敵な判断と大いに評価したいと思えます。わが社も、この理念を尊重し心を込めて施工しなければ、と思っております。

「減築」という新たな建築思想

炬火台に関係して思えば、このところ社会生活全般に変化が起きつつある様に感じます。私達の分野で言えば、経済優先主義を反映して「新建築」は在っても「建築文化」が失せた今を嘆いていたのですが、「環境」「真の豊かさ、本物」と言うキーワードで規定する価値の再発見が新たな潮流として顕在化して来ている様に思えてなりません。

スローフード・スローライフに象徴される価値、資源・エネルギーの効率利用とロングバリュー、本物を大切に永く使うというライフスタイル、等々に明らかかな主張の違いを感じます。少子高齢化社会による人口減少は、建築ストックの余剰を益々増大させ、「減築」という新たな建築思想と技術を要する時代が間もなく到来することも事実です。只造るより造らない事を提案する建設会社が必要な時代が遠からず来るかも知れません。

時代に敏感に時代に正しく

今に生き、未来に生きるわが社の使命として、時代に敏感に、時代に正しく感応する企業でありたいと常に念じています。新春に、埼玉国体の成功を祈念しながら、今年への思いを語らせて頂きました。本年も「もも」宜しくお願ひいたします。

四季おりおり

キタミソウ

キタミソウという植物をご存知でしょうか？ちよっとした図鑑には載っていないかも知れません。川や池の水辺に生育する5〜6センチの植物で花は2〜3センチの大きさです。名前のとおり北海道の北見市で発見、命名されましたが既に絶滅、九州熊本で発見されるも今は見られず、レッドデータブックでは絶滅危惧I Aクラスに分類されるという超希少植物です。

実はこの植物、埼玉では岩槻、越谷、行田で発見され、妻沼、熊谷でも確認されました。今のところ日本中で埼玉でしか見ることが出来ない状態です。

夏の暑さを水底で耐え、冬、水位が下がると花を咲かせます。11月〜3月が見頃でしょうか。稲作における水の管理にうまく適合し生き残ってきたようです。

顔を地面に近づけると一面のお花畑、立ち上がってみるとわからなくなってしまう…そんな小さなキタミソウを是非、知ってください。見てください。熊谷は県内で最も上流域に位置し、別府沼公園で見ることが出来ます。親水テラスの水際でじっと眼を凝らすと一面のお花畑がひろがっていることに気づくでしょう。

(財)埼玉県生態系保護協会 熊谷支部長 新井 千明



計報



去る十一月二十九日取締役会長時田芳雄が永眠いたしました。生前賜りました御厚情に深謝申し上げますと共に、本年も変わらぬ御交誼の程お願い申し上げます。

人と住まい…暮らしのヒント

住まいと楽しくつき合おう！ ⑥ 何とかしたい！冬の結露

本格的な冬の到来です。この季節、同じような悩みを抱えている方も多いのではないのでしょうか、今回は結露についてのお話です。

Q 冬になると、決まって窓ガラスが結露します。何かふせぐ方法はありませんか？

A 結露とは、温かい湿った空気が急に冷やされたときに、空気中の水蒸気が水滴になる現象のことを言います。冷えたビールびんに水滴がついたり、お風呂の天井からしずくが落ちてきたり、湯気でメガネがくもったりするのも結露現象のひとつ。結露の正体は、空気中の水蒸気



なのです。

では、結露はどのようなときに起こるのでしょうか。窓の結露を例に考えてみましょう。

石油ストーブや調理中のやかんや鍋、観葉植物などから水蒸気が発生する→冷たい外気が窓ガラスを冷やす→水蒸気を含んだ室内の空気が窓に触れる→窓ガラスに結露が起こる

このように、室内の温度が高くて、窓の温度が低いと結露が起こります。結露を抑えるにはどうしたら良いのでしょうか。

対策1 断熱性能を高くする。

結露は、湿った温かい空気が急激に冷やされた時に起こるわけですから、室内温度より冷たくなる所を少なくすれば抑えることができます。窓ガラスに複層ガラス(2枚のガラスの間に空気層を設けたもの)を使用すると、通常の単板ガラスよりも高い断熱性能があるので結露防止に効果があります。もっと手軽なものとして、窓ガラスに貼る断熱シートやスプレー式の断熱材を使用する方法もあります。サッシの下の部分に貼って、結露による水滴を吸い取るテープや、押入用の結露防止シートなどもホームセンターや量販店で手に入れることができます。

対策2 水蒸気そのものの発生を減らす。

冬は乾燥しやすいと言われますが、結露が起こるということは、それだけ室内の湿度が高いということです。洗濯物は室内に干さない、加湿器の使用は控え目にする、エアコンや電気ストーブを使うなど、暮らし方を工夫することも必要です。

対策3 十分な換気をする。

いくら工夫をしても、水蒸気をゼロにすることはできません。調理の時や入浴後は、必ず換気扇を回しましょう。また、空気の流れの悪いところは水蒸気もたまりやすいので、ときどき窓を開けて乾燥した空気を取り入れ、通気を良くするようにして下さい。それでも結露が起こったら…

こまめに拭き取るようにしましょう。結露を放っておくと、壁にシミをつくったり、カビやダニの原因となったりします。

大切なわが家ですから、ちょっとした工夫と手間をかけて、この冬を温かく、快適に過ごしていただきたいと思います。

(アルボックス時田 小島)

住まいの疑問はこちらまで e-mail:arbox@tokita.co.jp

—21世紀のインターフェースは私達におまかせ!—

社内インターフェース

建設業界は、建設投資の低迷、業者数の投資のバランスの崩壊等、市場の大きな構造変化の中、受注の減少、利益率の低下により、厳しい経営環境に直面しております。当社はこの環境を真摯に受け止め、3年前に創造力と勝力を有し、更なる発展を遂げる100年企業を目標として大胆な組織改革を実行致しました。

ご承知の通り当社は3部制で運営しております。以前紙面で紹介致しました【建設部…新築工事の施行管理をすべて行なう部署】、【創生部…増改修工事の調査設計・積算・施行管理すべてを行なう部署】。そして今回紹介致します【管理部】です。

【管理部】は積算・技術・情報・総務管理課の4課で構成され、9名が所属しております。業務内容は【建設部】・【創生部】業務以外すべてです。昔の言葉を引用しますと「縁の下の力持ち」、あるいは「なんでも屋」的な業務とされ、すこし暗い雰囲気か漂っていました。しかし、組織改革を行ない技術系社員を増員することにより「縁側の上の力持ち」、また「数値で表現出来る」業務管理が可能になり、少しづつ改革の結果が出始めました。

改革から3年を経て、現在は①「建設部」と「創生部」②「アナログ」と「デジタル」の2種類のインターフェース業務を数値化しつつ、改革から確立へ一歩一歩、進めて行こうと思っております。

社内と地域のインターフェース

社内の充実と共に、「お客様」と「当社」とのインターフェース業務をより充実させたいとの思いで、ホームページを開設し何回かのリニューアルを経て、現在までに約4,300名の方にアクセスして頂きました。また1年ほど前からホームページ上に皆様と当社の交流広場として【ときたうん】を新たに開設しました。認知されるまでには時間がかかると思いますが皆様のご協力で大きく育つことを願っております。また、ソフト面として社員の手作りによる情報誌「もも」も、4年間で1号~25号まで発行することが出来ました。これからも地域との交流情報誌としてさらなる充実を計りたいと考えております。ハード面としては当社の1階を地域との情報交換の場として、3階は地域との交流の場【ときたうん】として存在しております。是非ご利用して下さい。皆様にお会いする機会の少ない管理部の面々をご紹介致しますので。

最後に「お客様に、より満足して頂けるサービスとは何か？」をキーワードとし、管理部全員で追求し続けるつもりです。電話の対応・接客・日々の挨拶等、お客様が不快に感じたことがあれば、是非お知らせ下さい。そのことを糧として、創造力と勝力のある地域工務店に育って行きたいと思っております。

(小林)

シェフの美味しいひとりごと

サン・アムールのレシピより

簡単リゾット(クリーム風味)



冷飯…茶碗2杯分
玉葱…みじん切り 40g
きのこ…みじん切り 50g
(しいたけ・エリンギなどお好み)
チキンブイヨン…200cc
生クリーム…150~200cc
オリーブオイル…大さじ2杯

粉チーズ
…お好みにおおじて
バター…少々
塩・こしょう

冷飯はざるにあげて水洗いし、米のぬめりを取っておく。鍋に玉葱を入れバターで透き通るまで弱火で炒める。きのこを加えて炒め、軽く塩こしょうで下味を付ける。チキンブイヨンを注ぎ入れ、ざるにあげた冷飯を入れ弱火で炊く。

水分が無くなって来たら生クリームを注ぎ入れる。軽く煮詰めて味を整え、オリーブオイルを加え火を止める。粉チーズを混ぜ合わせて仕上げる。粉チーズを多く加えると、よりいっそうコクが増します。バター代わりにオリーブオイルで炒めても良いのですが、必ず最後にも再び加えて下さい。香り高くなります。

又、生クリームを加えずにブイヨンとオリーブオイルだけで仕上げても軽いリゾットができます。根菜などの冬野菜と合わせても良いでしょう。ブイヨンの代わりにカツオだしを使い、オリーブオイルで仕上げるのもとてもヘルシーでフュージョンなりゾットができます。今年七草粥の代わりに洋風でいかがですか？

HP <http://www.saint-amour.jp>



管理部長 小林 宏政

課長 清水 由一

課長 木村 嘉文

係長 寺山 浩

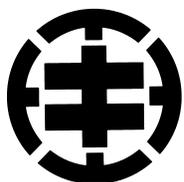
北 寛子

次長 時田 絹代

矢内 淳恵

上田 小都子

石田 緑



Community Construction

時田工務店

街 地域に暮らし、地球に生きる。原域に暮らす生活者の感性を、何よりも大切にしています。

建 一つひとつの建物が、豊かな街をつくる。だからこそ建築には、一切の妥協が許されません。

人 建築という仕事の質を決定するもの。それはあくまで人の質、人と人との関係の質だと考えます。